

Stage Up

ステージアップ VOL.203 2015年4月1日 (隔月発行)



もくじ

2 まち・ひと・多面体

- ・ビブリオポルトスの取組
- ・「丸子の渡し」を次世代へ繋ぐ

3 シニアのパレット

- ・大師古民謡保存会の取組
- ・高津地区一日一万歩歩こう会

4 特集

～地域の寺子屋の取組～

6 施設めぐり

7 情報ポケット

《かわさきのイベントシリーズ①》

川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)

誌 上 ギ ャ ラ リ ー

市民主体のアートイベントや芸術活動が盛んな麻生区で、2009年(平成21年)から始まった総合芸術祭です。毎年ゴールデンウィーク期間中に、新百合ヶ丘駅周辺の音楽ホールを中心にクラシックやジャズなどのコンサート、オペラ、ミュージカル、演劇、落語、伝統芸能、バレエ、人形劇などの公演が行われています。

また期間中は、手づくりアート作品を展示・即売する「アート市」などの野外イベントも開催されます。来場者は毎回2万人を超え、川崎市北部を代表する「大人から子どもまで楽しめる良質の芸術イベント」として親しまれています。詳しい公演情報は、各公共施設にあるチラシかアルテリッカ公式ホームページをご覧ください。

《開催期間》 2015年(平成27年)4月25日(土)～5月6日(水・振休)

《開催場所》 小田急線新百合ヶ丘駅周辺の昭和音楽大学、川崎市アートセンター、麻生市民館、新百合21ホール及び多摩市民館、宮前市民館



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

http://www.kpal.or.jp Eメール:stage-up@kpal.or.jp



当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。

まち・ひと・多面体

ひとりじゃない 本でつながる キミのまち ～ビブリオポルトスの取組～



小松雄也さん

川崎市立図書館や市外の各施設等の依頼を受け、「ビブリオバトル(書評合戦)」を主宰する小松雄也さん(現大学生)。小松さんは「理想の本棚を作成し、読書で人をつなげたい」と、自ら2014年にビブリオポルトスの名で一般社団法人を設立。夢や希望を実現するためには「考えるよりも先ず行動を起こすこと」をモットーにしながら現在も活動を続けています。2013年に小松さんは、東京都と東京都教育委員会が主催する書評の全国大会「ビブリオバトル首都決戦2013」に出場し、783人の中のファイナリストに残りました。翌年には、大学から学術活動の優秀者にも選ばれています。小松さんは、大学生であっても社会的に責任のある立場で社会貢献をしていきたいと語ります。

ビブリオポルトスは、現在4人(大学生や社会人)で活動しています。

川崎市立図書館の後援を受け「ビブリオバトル入門&体験講座」を開催したり市立病院や各企業、東京都の市立中学校等にも行ったりしてビブリオバトルを広めています。



▲ビブリオバトル入門&体験講座

「ビブリオバトル」とは、本に関心と興味をもつ人が集まり、発表者が約5分間で本の魅力を書評し合います。3分間の質疑応答からどの本が一番読みたくなった本かを参加者全員で決めるといういわゆる、ゲーム形式の書評合戦のことをいいます。

小松さんは、「ビブリオバトルは、読みたい本や面白い本を具体的に提供し合い、世界中の本棚(理想の本棚)にしていく一つの方法」と強調します。一般社団法人にしたことで、大手出版社から連絡があったり、アメリカ大使館からもビブリオバトル開催の依頼があったりして、喜びと期待に包まれているといいます。また、ビブリオバトルは、初対面の人同士が緊張をときほぐすアイスブレイクや企業の上司部下が身近な本を紹介し合い人間関係を築く、読書を通じて世代間を超える交流、コミュニティ内の人間関係の構築、スピーチ能力の訓練、面白い本と多く出会う機会と経験の共有、地域の活性化に繋がる等多くの役割があり、その効果も期待できると説明します。小松さんは、



TARO本で語ろう!ビブリオバトル
岡本太郎美術館 in明治大学和泉
ビブリオバトル 図書館で本を書評

現役の大学生ですが「これからは社会的に意義のある活動なので、大学を卒業してからも続けていきたい」と抱負を語ってくれました。

■問合せ: 代表理事 小松雄也 TEL 080-5545-2682

古き良き丸子の渡しを次世代へ繋ぐために ～丸子の渡し復活協議会の取組～

江戸と相模を結ぶ「中原街道」は、東海道の脇往還として、また、物資輸送の道として大いに賑わいました。その中原街道には、多摩川の渡船場(「丸子の渡し」)もあり、船で川を往来していました。現在は、交通量や物資輸送の増加、1935年(昭和10年)に丸子橋が架橋されたことにより、「丸子の渡し」は姿を消してしまいました。しかし、歴史ある「丸子の渡し」ときれいに変容しつつある多摩川を次世代に体験を通して伝えていきたいと2006年に「丸子の渡し復活協議会」を発足。現在、安住三郎さんを代表に約15の団体代表が集まり推進しています。今回、事務局の鈴木眞智子さんに発足から実施までについて聞きました。鈴木さんは、



開口一番に「発足当時は、会議中心だったので、1

日も早く舟で対岸へ渡って見たかった」と、復活への熱き思いを話します。2013年に観光協会や地域、報道機関、行政等に相談しながら、市民が中心となって実施計画を作成し、翌年、待ち望んだ「丸子の渡し」を実施することができたと、笑みを浮かべて話していました。



当日は、予想を大幅に上回り約1,000名もの参加者が集まったといいます。多く集まったのは、「丸子の渡し」を直接体験したい、きれいになった多摩川を見てみたい、地域のことを詳しく知りたいという思いが重なったからではないかとみえています。

「事務局としては、楽しい体験でもあり、多くの参加者が集まることは大変うれしいこと。その反面、絶対に事故を起こしてはならないという責任も生じ、安全には、万全の備えで臨んだ。もしも、事故が起きた場合のことも想定しライフジャケット等多く用意した」と人命を最優先にして「丸子の渡し」を開催してきたことがよくわかります。

鈴木さんたちの川に対する安全意識とその対策は、水辺を活動の場に、子どもたちが川に親しみ自然体験を行うために企画・運営する「とどろき水辺の楽校」の経験から来ています。「丸子の渡し復活協議会」の今後について鈴木さんは、多摩川の環境美化活動を継続しながら、多摩川の各流域で実施している渡し舟の団体が一堂に集まり、多摩川流域サミット(仮称)を企画し、地域との交流を深めていきたいと話しています。



▲開催日に親子で焼き魚を食べながら楽しく過ごす

■問合せ:「丸子の渡し復活協議会」

事務局 鈴木眞智子 TEL 044-201-1493

シニアのパレット

歌い繋ぎ、地域を結びつける大師古民謡 ～ 大師古民謡保存会の取組～



「II～めでIた～いイ こちいいらの相おっほほ～れいヨ材林ア～まだまだ・・・」。決まった楽譜もなく、アカペラで歌われる「大師古民謡」。敗戦後、一時歌われなくなりましたが、1955年(昭和30年)に次世代へ継承していきたいと「大師古民謡保存会」(以下、「保存会」という)が発足。多摩川下流の羽田地区や大師地区では、昔から「オセド」とか「メデタヤ」と呼ばれ歌われてきました。

大師古民謡は、結婚式や祭礼等めでたい催しの際に歌われるため、別名「大師めでたや」とも呼ばれています。

また、川崎の詩人「佐藤惣之助」さんも好んでこの歌を歌っていたと「保存会」の会長の田辺裕之さんは、話します。

大師古民謡は、1832年(天保3年)頃から歌われていたという古い歴史があります。だから「保存会」は、絶やさないうち次世代に伝えていきたいと、仕事を終えてから集会場に集まり、練習を続けてきました。主な発表の場は、地域のお祭りや小学校等に招かれ、子どもに教え続けています。



もに教え続けていきたい」と「保存会」にかける意気込みを語ります。

「保存会」は、近隣の小学校(3年生)で大師古民謡の歌を教えたり、作詞の指導をしたりしています。「子どもが何に感動したか、丁寧に聞きとりながら詳しく引き出してあげることが大切なこと。難しいが楽しみでもある」と笑みを浮かべます。グループで苦労しながら作りあげた時のうれしそうな表情は、何ものにもかえがたいと話し、子どもに「あなたは、節回しがグッドよ。センスもあるよ。将来楽しみだね」の声かけで、その後の学校生活では、プラスになっていると学校から報告を受け、「大師古民謡を教え伝え続けて良かった」といい、継承の芽は、着実に育ってきているとも話しています。

たか、丁寧に聞きとりながら詳しく引き出してあげることが大切なこと。難しいが楽しみでもある」と笑みを浮かべます。グループで苦労しながら作りあげた時のうれしそうな表情は、何ものにもかえがたいと話し、子どもに「あなたは、節回しがグッドよ。センスもあるよ。将来楽しみだね」の声かけで、その後の学校生活では、プラスになっていると学校から報告を受け、「大師古民謡を教え伝え続けて良かった」といい、継承の芽は、着実に育ってきているとも話しています。

■問合せ:「保存会」田辺裕之 TEL 044-288-5865

健康と生きがいのために ～高津地区一日一万歩歩こう会の取組～



「高津地区一日一万歩歩こう会」(以下、「歩こう会」という)の会長、石塚卯三夫(うさお)さんは、90歳。現在も大変若々しく、若さを保つ秘訣を聞くと、「適度な運動(歩くこと)と声の大ききさかな」と元気な答えが返ってきました。

「歩こう会」は、アジアで初めて開催された東京オリンピックの翌年(1965年)に発足し、50年もの歴史があります。

発足のきっかけは、「当時、交通戦争と言われていて、安全と健康が社会的な課題になっていた。その課題を解決するひとつとして、一日一万歩をめざそうと提案され始まった」と説明します。当初は、警察や消防署、役所等の呼びかけで行っていたが、継続には、区民の主体性が大切だということから、現在のように参加者が主体で企画・運営をするようになったといいます。

また、石塚さんは当時のことを「万歩計もなく、歩幅約76cmで総距離を計算したものだ。また、参加者を募るために、キャラメルを配布したり、大手スーパーの粗品を集めて参加賞にしたりしてきた」と懐かしむように話していたのが印象的です。



発足時は、高津小学校から久地地区の宇奈根間までをコースにして実施していました。年に数回、約360人を乗せた貸切列車『高津健康号』で山梨県や成田山、鎌倉等まで行き楽しみながら歩いていた時代を振り返っていました。



「途中具合の悪い人がいて救急車で搬送したり、台風や雪のため列車が立ち往生したりして、これからどうしたらいいのか途方にくれたこともあった」と「歩こう会」の長い歴史のひとつを話してくれました。

現在も市内外から多くの参加者が集まる「歩こう会」。会員も約450人。平均年齢は75歳を過ぎているといいます。月1回、第3日曜日に開催しています。「高齢者が多く、健康状態を互いに確かめ見守る意味では、「歩こう会」の果たす役割は大きい」と話します。参加者の中から、「会長の顔をみるのがとても楽しみのひとつ。元気を頂くためにも参加していると言われると

うれしい。まだまだ現役でがんばらなければと気を引き締めている」と笑みをこぼします。石塚さんをはじめ、「歩こう会」の皆さんは、地域のラジオ体操や子ども会、小学校の昔遊び、区のイベント等にも指導者として参加を続けています。

■問合せ:「歩こう会」石塚卯三夫 TEL 044-822-8282



学ぶ力・遊ぶ力・生きる力を育む ～「地域の寺子屋」の取組～

川崎市は2014年度から、地域ぐるみで子どもたちの教育や学習をサポートする仕組みづくりを通して、多世代で学ぶ生涯学習の拠点をつくることを目的に「地域の寺子屋事業」をスタートしました。今年度は市内8カ所で、①学習支援、②体験活動、③世代間交流を柱とした寺子屋事業がモデル実施されています。今回の特集では、各寺子屋の様子取材しました。

学習支援

学習支援は、基礎的な学習や家庭学習の支援、日々の学習で積み残した課題の解消を目的に、平日の放課後週1回、学校の特別教室などで行われています。

■大島小学校(川崎区)

宿題を基本に、問題を正確に解く力を身につけることを目的に実施しています。個別に、丁寧に勉強をみてもらい、問題が解けた時の子ども達の嬉しそうな表情が印象的でした。大島小学校の寺子屋は地域教育会議が実施していますが、コーディネーターの方は、地域教育会議が行うことで地域の人々の協力が得られ、地域の活性化にも繋がると話していました。

■日吉小学校(幸区)



算数を中心に学年ごとに学習をしています。子どもの疑問を解決できるような学習形態にしていきたいと考えて実施し、寺子屋先生が作成したプリントや宿題を中心に学習しています。

■富士見台小学校(宮前区)

低、中、高学年に分かれて学習しています。「計算名人・かけ算名人になろう」など計算の基礎・基本の定着に努めています。また、漢字や読みのドリル学習と図工もあり、子どもの興味関心を高めています。



■中野島小学校(多摩区)



全学年をAとBのグループに分け、隔週で国語と算数を学習しています。発展的な算数の問題にも関心を示し、夢中で取り組む様子が見られます。寺子屋先生による手品の披露もあり、歓声が沸き起こります。また、読解力の必要な文章題については、図や数直線で表すことの大切さを学び、子ども達の理解に繋がっています。

■西生田小学校(麻生区)

国語や算数の宿題、寺子屋先生が作成する発展的な内容のプリントを使って学んでいます。その他にも寺子屋先生の知識を活かして、「星や宇宙」「囲碁」「計算」「音楽」など様々なテーマの学習を通して子ども達の興味関心を広げています。



体験活動・世代間交流

体験活動・世代間交流は、多様な体験や多世代の交流の促進を目的に、月1回土曜日に学校施設や市民館等を活用して行われています。

■臨港中学校区(川崎区)

体験活動では、大島小学校以外にも中学校区内の児童生徒へ幅広く声をかけて実施しています。この日は「飛ばして遊ぼう」をテーマに、色々な紙飛行機を作り、広い体育館でおもいきり飛ばしていました。滞空時間の最長記録をもっている紙飛行機の型や、輪型、ツバメ型など色々な紙飛行機を教わり、親子で一緒に楽しんでいました。



▲飛ばして遊ぼう

■中原小学校(中原区)



管理栄養士の先生による「親子の料理教室」取材しました。この日の献立は「じゃが芋のニョッキ」や「チキンと野菜のトマトソース」など。参加した保護者は、「普段は、ゆっくりと料理を教える時間がないので、今日の料理教室を楽しみにきました。これを機会に料理する楽しさを分かってもらえれば」と話していました。

▲じゃが芋のニョッキ

■久本小学校(高津区)

文字を通して「心の中に風景や情景が広がるインテリア」としてふさわしい作品を創作する「インテリア書道」取材しました。学校で学ぶ書道とは異なり、インテリアの作品として色々な台紙に貼っていく過程を楽しみながら納得のいく作品をつくることに子ども達は夢中でした。



▲インテリア書道

■菅生中学校区(宮前区)



▲花びら餅づくり

菅生こども文化センターと連携して「すがおこども大学」として体験活動を実施しています。この日は「和の心でおもてな・し」。寺子屋先生から、和の心や花びら餅のいわれ等を聞き、みんなで和菓子づくりに挑戦しました。初対面の子も同士もすぐに意気投合し、即座に役割分担を決めて行動します。この日は、文部科学省の職員も参加し、出来上がった花びら餅をいただきながら、本格的なお茶会も体験しました。

全区の取り組み全てを紹介することはできませんが、この他にも、海洋研究開発機構(JAMSTEC)による「海底探査へ行こう」(日吉小学校)、東京ガスによる「環境・新エネルギー燃料電池を学ぼう!」(中野島小学校)、「おとうさんたちと昔遊びを楽しもう」(西生田小学校)等、様々な活動が実施されていました。

2014年度のモデル事業の実施状況

対象校	実施団体
大島小学校 渡田小学校	臨港中学校区地域教育会議
日吉小学校	「寺子屋ひよし」実行委員会
中原小学校	NPO法人かわさきスポーツドリーマーズ
久本小学校	NPO法人高津総合型スポーツクラブSELF
富士見台小学校	「寺子屋富士見っ子」実行委員会
菅生中学校 菅生小学校 稗原小学校	菅生中学校区地域教育会議
中野島小学校	NPO法人 かわさき創造プロジェクト
西生田小学校	NPO法人 教育活動総合サポートセンター

寺子屋先生とは

寺子屋で、子ども達の学びをサポートする人を「寺子屋先生」と呼んでいます。現在のモデル事業でも、退職教職員や地域の方、PTA、或いは地域の企業などが寺子屋先生として活躍しています。

教育委員会や(公財)川崎市生涯学習財団では、特に放課後の学習支援をサポートする寺子屋先生の養成講座も開催しています。次回は、6月頃の開催予定です。

寺子屋に関心のある方、是非、一緒に子どもたちに関わってみませんか。



■問合せ: 川崎市教育委員会
生涯学習推進課
TEL 044-200-3565

施設めぐり

市内公的施設および当財団が運営管理する施設の紹介

高津区

川崎市子ども夢パーク JR南武線津田山駅下車、5分

TEL 044-811-2001



川崎市子ども夢パークは、「川崎市子どもの権利に関する条例」を実現する場所として、『子どもが自由な発想で、遊び、学び、つくり続ける居場所』をめざしています。一人ひとりの自己肯定感を育む環境づくりに力を入れ、ここでは、子どもが安心して、ありのままにいられることを尊重し、自分の中から湧き出る「やってみたい」を大切にしたいと考えています。そして、できるだけ禁止事項をつくらず、子どもの発想で自由に遊び、自分の力の限界に挑戦し、それができたときの達成感を通して自信を育むとともに、安心して失敗できる環境づくりに力を注ぎ取り組んでいます。また、子どもの「参加」を大切に、運営や遊具の製作・イベントの開催等に子どもの意見を聴き、子どもたちが自主的・自発的に活動する拠点づくりをめざしています。

夢パークはこんな場です♪

- 使いながらつくり続けていく場
- 子どもの自由な遊び、活動がどんどんふくらむ場
- 子どもが自由に安心していられる場
- 学校以外での育ち、学ぶ場
- 川崎市子どもネットワークの拠点となる場
- 子どもたちが自分たちで動かしていく場



高津区

大山街道ふるさと館

JR南武線武蔵溝ノ口駅・東急田園都市線溝の口駅下車、徒歩7分
東急田園都市線高津駅下車、徒歩5分 TEL 044-813-4705

歴史をつなぐ 人をつなぐ 大山街道ふるさと館

大山街道は江戸への物資輸送や大山信仰の旅人で賑わった道として広く知られています。ふるさと館はこの街道沿いに位置する資料館として、地域の歴史・民俗等に関する資料や郷土にゆかりのある人の美術、文学等の展示と市民の方々にさまざまな学習の場を提供し、郷土の理解や地域の活性化に貢献する事業を行っています。

2015年度 主な事業企画



26年度ミニふるさと発見展

◆ミニふるさと発見展 (年間3回)

南武鉄道、諏訪河原町、久地村の歴史を取り上げていきます。

- ◆歴史探究講座 川崎市域の街道をテーマにした講座を開催します。
(3回シリーズ)
- ◆街道学習講座 鶴間から海老名までを歩き、街道のもつ魅力を体感します。
(3回シリーズ)
- ◆ふるさと町歩き 町歩きをしながら地域の歴史を学びます。
講座(年間2回)



▲26年度ふるさと町歩き

来館者のニーズに応える情報や資料などの提供(通年)として、大山街道に関する映像資料(DVD)の整備や視聴サービスを進めています。

※事業内容の詳細は、直接大山街道ふるさと館へお問い合わせください。

宮前区

川崎市青少年の家 東急田園都市線宮崎台駅下車、徒歩12分

TEL 044-888-3588

2015(平成27)年度 夏期施設利用



学校等の夏期休業期間《7/21(火)～8/31(月)》を生かして、自主性や豊かな情操を身につけ、心身ともに健全な青少年を育成するために、川崎市青少年の家で団体宿泊をしてみませんか。日常とは異なる、団体生活体験や研修等のプログラムを行うことができます。

〈利用対象〉川崎市内の青少年団体・学校・教育委員会が認めた団体。(指導者に引率され、具体的な利用計画があること)

〈利用内容〉団体宿泊利用。

〈申込方法〉3月末頃に配布される『夏期利用仮申込書』に記入し、川崎市青少年の家に直接持参or郵送。
〒216-0033 川崎市宮前区宮崎105-1

〈申込締切〉4月30日(木)17:00必着。

〈留意事項〉①5月10日(日)10:00～12:30に日程調整会を行います。申込団体は必ず出席してください。

②この期間の野外炊飯はできません。

③プール利用期間は7月4日(土)～8月31日(月)

④市外青少年団体と一般団体の宿泊利用は、5月14日(木)9:00から受け付けます。

⑤日帰り利用の申込は、通常通り、利用日の19日前から3日前までです。



2015年度 生涯学習財団 主な事業

(公財)川崎市生涯学習財団は市民の皆様の生涯学習の支援や高度で専門的な学習ニーズに対応した学習の場を提供するとともに、学校やNPO法人、民間の方々との多様な連携により事業展開しています。



▲川崎市生涯学習財団

I. 生涯学習活動の機会と施設の提供

① かわさき市民アカデミー協働事業

平成5年に発足した市民大学の「かわさき市民アカデミー」は高度で専門的なプログラムを展開。近年、年間延べ約6,000人超の市民が学んでいます。

② ふれあいサマーキャンプ

市内の小学5年生から中学2年生までを対象に友好自治体を訪問し交流。豊かな自然や生活・文化にふれ、心身ともに健康な青少年の育成をめざし実施しています。平成2年度から平成25年度までに延べ約5,100名が参加しました。

【平成27年度の交流実施予定自治体】



島根県益田市、和歌山県古座川町・太地町、長野県富士見町、岩手県花巻市、北海道中標津町

※ふれあいサマーキャンプで交流した和歌山県古座川町の児童が8月に川崎市を訪れ、交流する予定です。

③ キッズセミナー、子ども陶芸教室

小学校3年生から6年生までを対象に、夏休みに「おもしろ科学」や「わくわく造形教室」、「陶芸」等の楽しい教室を開催します。



④ 青少年創作教室

陶芸、絵画(油絵)の美術・工芸を中心とした創作活動を生田中学校特別創作活動センターで実施します。

⑤ 施設の提供

生涯学習プラザ施設(フィットネスルーム、会議室等)を学習会やミーティング、軽いスポーツを行う会場として提供します。

II. 生涯学習に関する活動を支援

シニア世代の市民を対象に、学習成果を地域社会づくりや学校支援に生かすことを目的に実施します。

① 生涯学習ボランティアの養成・派遣

生涯学習ボランティアとして「小学校パソコンボランティア」「特別支援教育ボランティア」等の養成講座を開設し、修了者を学校に派遣します。

② 地域協働講座の開設

「NPO法人かわさき市民アカデミー」と協働で、大学等地域関係機関、地域団体・企業等と連携し、シニア活動を支援する地域に密着した講座を開設します。

③ シニア活動シンポジウムの開催

III. 生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究

ホームページ「かわさきの生涯学習情報」を発信するとともに市内の公共施設とのリンクを拡げ、全市的な生涯学習情報の発信に取り組みます。

- ◇生涯学習情報誌「ステージアップ」の発行
年6回(偶数月の隔月発行) 各10,000部
- ◇かわさきの生涯学習情報(KSJ)の発行
年8回 各5,000部

IV. 生涯学習に関する多彩な体験講座

親子やシニアまで、市民の誰もが参加できる体験型の学びの場を提供します。

① 健康スポーツ教室



エアロビクス・ヨガ・気功太極拳、親子リトミック・ピラティス等
また、保育つきの教室も実施。

② 文化教室

写真・アロマ・フラワーアレンジ等。

③ 陶芸教室

陶芸教室、陶芸室の一般開放、初めての陶芸教室等。

その他の事業

① パソコン教室

NPO法人と共催。

② 地域の寺子屋事業



③ ロビーコンサート

月1回程度、昼休みの時間に生涯学習プラザのロビーでミニコンサートを開催。

あとかき ■寺子屋は江戸時代に、町人の子弟に読み書きや計算、平易な道徳を教育した民間教育施設です。■フリー百科事典によれば、幕末の安政から慶応にかけ14年間に年間300を超える寺子屋が開業し識字率は世界最高水準にあったという。■当時、各国の就学率は1850年頃の日本(江戸期)で70~86%、イギリスで20~25%(1837年)、フランスで、1.4%(1793年)、ソビエト連邦時代(モスクワ)で20%(1920年)と、日本の就学率は、格段に高かったようだ。■川崎市は昨年度から、学力向上や豊かな人間性の形成、地域の教育力の向上、シニア世代を生かした生涯学習の拠点づくりを目的に「地域の寺子屋事業」を推進している。■地域が一体となり子どもの学習を支援し、多世代で交流し学び合う様子は、川崎市民の人間形成と生涯学習の推進による「最幸のまち・かわさき」にふさわしい。



川崎市生涯学習プラザからのお知らせ

1階ロビーの様態替えをしました



談話、情報コーナーの椅子は、ソファから木製ロビーチェアに替え、座席数も増やしました。従来のテーブルと組み合わせ、休憩や小グループでの会議、打ち合わせ等、多目的にご利用ください。

ホームページ「講座・イベント情報」
検索システム導入のお知らせ

新しい自分に出会う喜び
仲間と学ぶ、おもしろさ
学んで広がる、私の世界

4月から検索システムを導入し、エリアやカテゴリーで講座、イベント情報を検索できるようにします。
是非ご利用ください。

かわさきの生涯学習情報

検索

303 パソコン研修室ご利用のご案内



303研修室には最新鋭のパソコンが11台(講師用1台含む)を設置し、事前に団体登録を行えばパソコン研修室としてどなたでもご利用になることができます。

設置パソコンはWindows8.1/Office2013です。設置パソコンは無線LANへも対応しております。是非、団体様、グループ様のパソコン研修等にご利用ください。尚、パソコン教室は、RKH研究所との共催事業で実施しています。詳細については、財団ホームページをご覧ください。

平日料金

午前	午後	夜間	全日
9:00~12:00	13:00~17:00	17:30~21:00	9:00~21:00
¥5,140	¥6,170	¥7,200	¥18,510

注)：定員は16名ですが、パソコン設置台数は11台となっています。ノートパソコンの持ち込み使用は追加料金無しでご利用いただけます。また、インターネット環境が整っています。

■問合せ：川崎市生涯学習財団総務室 Tel 044-733-5560